

かけはし

YAME GENERAL HOSPITAL Public Relations Magazine

かけはし 2025年 春号

- 地域医療懇談会を開催しました
- 整形外科コラム
「骨粗しょう症」について
- 自動車運転・移送支援について
- 糖尿病療養指導士の紹介
- 外来診療担当一覧



撮影：企業長 田中法瑞

病院理念

心のかよった医療を提供し
安心して暮らせる地域づくりに貢献します

基本理念

1. 患者さん中心の医療
2. 地域医療の充実
3. 人材の育成
4. 経営基盤の安定



交通アクセス



堀川バス 福島又は公立病院前下車
西鉄バス 西鉄福島下車



JR羽犬塚駅下車
堀川バス（25分）又はタクシー（15分）
新幹線筑後船小屋駅下車
タクシー（20分）



九州自動車道 八女IC
車10分（外来駐車場完備）



地域医療懇談会



地域医療懇談会

令和7年1月31日（金）
おりなす八女会場
参加者168名

を開催しました！

「八女・筑後医療圏」における医療の現状や課題、あわせて公立八女総合病院が担うべき役割など、今後の地域医療の在り方について地域住民の皆様とともに話し合う「地域医療懇談会」を開催いたしました。



企業長講演内容



企業長 田中法瑞

- 公立八女総合病院の歴史
- 公立八女総合病院の役割（感染症、心筋梗塞、脳卒中）
- 経営の状況
- 再整備計画の概要
- 公立病院の支援体制（総務省、構成自治体、久留米大学、八女筑後医師会）
- 住民の「信頼」がすべての基本

1月21日（広川町）、24日（黒木町）、31日（おりなす八女）の3か所で開催しました「地域医療懇談会」には多数のご来場をいただき、いずれの会場も満員の盛況でした。ありがとうございました。病院を代表して御礼申し上げます。



1/21 広川町会場



1/24 黒木町会場



1/31 おりなす八女会場

懇談会には、氷室健太郎広川町長（21日）、簗原悠太郎八女市長（24日、31日）をはじめ、久留米大学から石竹達也副学長（21日）、内村直尚学長（24日）、永田見生理事長（31日）に、また八女筑後医師会からは大橋輝明会長（21日、31日）、馬田裕二副会長（24日）にご列席いただきました。久留米大学からは、「医師派遣に協力し、新病院再整備計画を支持、賛同する」というコメントをいただきました。

講演後のアンケートでは、「このような住民への説明会をまた行って欲しい」という要望が多く寄せられ、顔の見える形でお互いの説明や意見を「聴く」ことの大切さと、住民の皆さまの公立病院に対する熱い思いを改めて感じることができました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

パネリスト(発表者)及び開催地を代表してご参加いただいた皆様



永田理事長



内村学長



石竹副学長



大橋会長



馬田副会長



簗原八女市長



氷室広川町長

地域医療懇談会当日にご質問頂いた内容をご紹介します（※一部抜粋・要約）



Q.夜間、救急車で運ばれる際に、公立病院で受け入れられない場合もあるのか。（黒木町会場）

A.救急車は可能な限り受け入れていますが、ただし、小児科など専門性が高い診療科の場合、対応できる別の病院への搬送をお願いすることがあります。

Q.皆が心配しているのは公立八女総合病院が異常な赤字である点である。（広川町会場）

A.総務省「公立病院経営強化ガイドライン」に沿った令和5年～9年までの経営計画を策定し、経営改善を図っています。再整備を行う上でも経営改善が必要と考えています。

Q.新しく病院の建替えや新規の医療機器を導入しても信頼関係の回復は容易ではないと思うが、どのように考えているか。（おりなす八女会場）

A.公立八女総合病院には投書箱があり、様々なご意見を頂き、各意見に対して検討をしています。職員にも危機感を共有し患者さんに対して質の高い医療サービスを提供するよう努めます。

Q.議会だけの情報では分からない部分もあり、マイナス部分の話も含め、本音の話を伺える場や新病院の進捗情報を定期的に公開してほしい。（黒木町会場）

A.今後も継続して説明会などを開催し、情報公開に努めます。

Q.新病院の候補地は決定しているのか。（黒木町会場、おりなす八女会場）

A.令和5年に取りまとめられた基本計画では八女市内数カ所が候補エリアとして提示されましたが、候補地として最終決定はされておりません。今後検討を進め、基本計画追補版においてお示しする予定です。



アンケートのご意見

- ・懇談会の開催そのものがよかった。病院建替えは大事業、しっかり議論し住民合意を得られるよう、このような機会を継続して頂きたい。（黒木町会場）
- ・経営改革が不可欠である。公立病院の赤字は、いわゆる親方日の丸で経営能力が欠けている。（黒木町会場）
- ・将来は筑後市立病院との統合が必要と言われたので、その件も筑後市等と協議をお願いしたい。（広川町会場）
- ・貴院が、患者にとっても医師にとっても魅力ある病院（完結医療ができる病院）になることが、今後の経営改善に必要であることが分かりました。新病院再整備に期待しています。（広川町会場）
- ・個人的には消化器内科の先生がいらっしやらないのは残念な事です。早期の消化器内科の医師派遣を希望いたします。（おりなす八女会場）
- ・色々な厳しい意見があつて大変だと思いますが、住民の声をしっかり聞いて意見交換することは大切だと思います。応援しています。頑張ってください。（おりなす八女会場）
- ・公立病院が活動している内容、保持している医療器械でできる治療等全く知らなかったので、勉強になりました。もっとアピールしてもらえたら公立病院のことを知るきっかけになるのかなと思います。（おりなす八女会場）



今回の懇談会
について

- 企業長説明資料（スライド資料）
- アンケート結果等



企業団・当院ホームページに掲載しています。
QRコードより是非ご覧ください。

年齢が上がると
骨折リスクも上がる

骨粗鬆症についてのおはなし

尻もちついただけ
骨が折れてしまう

みなさんは「骨粗鬆症」という病気をご存じでしょうか？骨粗鬆症の検査は簡単なものなのに多くの方が経験していないのが事実です。今回は皆さんに症状や検査方法、治療方法などについてを紹介したいと思います。

骨が弱くなり
スカスカの状態になる



骨折しやすくなり
骨の痛みが出現する



背中が丸く曲がる（高齢者の方）



平地で転んで動けなくなり
救急車で運ばれるケースもあります。

骨粗鬆症の主な原因が加齢であり、誰しもが起こりうる病気です。

生活への影響について

骨折・転倒は、介護が必要となる主な原因として認知症、脳卒中に次いで多く、今後も増加していくと思われま。身体が動けなくなると床ずれ、肺炎、尿路感染、筋力低下、認知機能低下など様々な病気を併発し、さらに動けなくなってしまいます。この悪循環が続くと一人で食事ができない、トイレに行けない、着替えもできないなど、生活にも支障が出てしまいます。そうならないように予防すること、動けるようになるように治療することが重要です。

加齢以外の要因について

避けられない要因…過去の骨折／更年期／遅い初経／早期閉経 など

避けられる要因…食生活の乱れ／運動不足／喫煙／日照不足／アルコールの取りすぎ など

※そのほか糖尿病・腎臓病の疾患を持っている方

症状

- 立ち上がる時や物を持つときに背中や腰が痛む
- 背中や腰が曲がってくる
- 身長が縮んでくる



背骨の骨がスカスカになり、じわじわ潰れてくることで起こります。ひどくなると痛みで寝込んでしまう、転んただけで骨折してしまいます。



正常な骨 骨粗鬆症の骨

骨折しやすい部分「4か所」



背骨
(腰)



股関節



手首



肩

※ 特に腰の骨は一般的な骨折とは異なり骨がつぶれる変形なので「もともと持っている腰痛が酷くなった」と思い、いざ検査をすると「実は骨折だった」という例がたくさんあります。

検査方法

当院で行っている DXA（デキサ）法という検査があります。

特殊な機械ですが腰と太もものレントゲンを撮るだけの簡単な検査です。

- 5分～10分の所要時間で終わります。
- 痛みもありません。
- 受診当日にすぐ検査可能です。
- レントゲン結果もすぐに出ます。



骨粗鬆症の予防、治療

運動療法

運動をすると骨は強くなります。
骨粗鬆症の治療になるだけでなく、
筋力低下予防にもつながり転倒する
可能性を下げるができるため
とても大切です。

ウォーキング（1日30分）



1.片足立ち（何かにつかまり左右1分ずつ）をしたあと
2.かかと落とし（1日30回）



食事療法 カルシウムの吸収を多くするために



1. 1日3回の 食事バランス

インスタント食品・加工食品は
なるべく避けましょう

2. カルシウムを多く 含む食品をとる

牛乳・ヨーグルト
豆腐・納豆
ししゃも・しじみ
ひじき・小松菜 など



3. カルシウムと一緒に ビタミンD・Kもとる



アルコールやたばこは
カルシウムの吸収を
妨げるので控えめに

ビタミンD
鮭・さんま
きくらげ・干し椎茸

ビタミンK
小松菜・ほうれん草
納豆・鶏もも肉

ビタミンDとKはカルシウムを
骨に届ける助けをします

ビタミンDは
紫外線に当たることにより
皮膚で活性化されます

4. 適度な日光浴



薬物療法 ※最近薬の種類も増え、患者さんに合わせた処方や治療を行っています。

1回/週
および 1回/月
内服するものが主流です。

内服



1回/月
および 1回/半年
注射するものが主流です。

注射



1回/月
および 1回/年
点滴するものが主流です。

点滴



最後に（患者さんへひとこと）

「骨粗鬆症」は自身が骨折するまでなかなか気に留めていないことが
多い病気です。

股関節を骨折し、救急車で運ばれてきた人の大部分が骨粗鬆症の治療を
開始していない場合が多く、股関節を骨折した人の81%は「骨粗鬆症の
治療を受けていなかった」と答えています。

股関節の骨折は手術をしないと歩くことが困難になり、仮に手術をして
リハビリをしても「元の歩行状態まで戻れない」方も多くいます。

「骨粗鬆症」の進行は個人で差がありますが、年を重ねるにつれて骨の密
度は低下しスカスカな状態になってしまうので注意が必要です。

「骨粗鬆症」について気になることがあ
れば、まずは検査を受けて自分の骨の状
態を確認することが重要です。
気になることがありましたら整形外科外
来にお問合せください。



整形外科部長
重留広輔



自動車運転・移送支援プロジェクトを行っています!

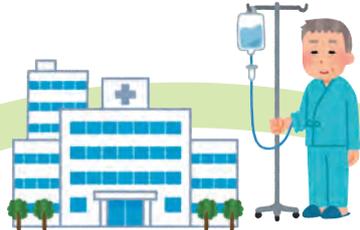
当院では「市民の暮らしのために」という言葉をコンセプトに、八女市や自動車学校と協力し、患者さんが退院後も住み慣れた場所で自分らしい暮らしを継続していく為に必要な、交通手段を確保するための自動車運転・移送プロジェクトを立ち上げました。

～取組みについて～



市役所など

- ・免許証の返納についての案内・支援
- ・その他の移送手段・サービスなどの案内



病院・患者さん

医師・看護師・事務職員・ソーシャルワーカーなどが連携し、患者さんと一緒によりよい方法を考えます。



自動車学校

- ・運転再開に向けての運転技術の確認を行います。

自動車運転再開に向けて



停止車両評価 (当院)

- ・院内にある実際の車 (停止車両) を使用します。
- ・乗り降り、ハンドル操作の確認を行います。



脳や身体機能の検査 (当院)



実車評価 (自動車学校)

- ・自動車学校内にて行います。
- ・学校内のコース、公道を運転し運転技能に問題がないかを確認します。

2014年の道路交通法改定により、「脳卒中」「てんかん」「認知症」などの一定の病気等に係る運転者対策として、医師による公安委員会への任意の届出制度が整備されました。

運転が中止・一時中断になった方への支援



自動車運転の再開が困難になった方や一時的に運転を停止せざるを得ない方に対して、パンフレットにて支援の案内をしています。パンフレットは当院の脳神経外科窓口や八女市役所に設置しています。公的、民間の支援サービス情報が充実した内容になっています。お気軽にお問合せください。

地域での活動(地域の公民館へ訪問しました)



八女市の公民館で行われた高齢者講習会にて「認知症が運転に与える影響について」当院の作業療法士が講義を行いました。

親切・丁寧な支援ができるよう、日々頑張っています



休みの日は温泉でゆっくり過ごします

お気軽にお問合せください (E-Mail:yameunten@gmail.com)
リハビリテーション科 (作業療法士 松尾・佐藤まで)

筑後糖尿病療養指導士（CDE）会 当院のチーム活動について

糖尿病にはチーム医療が不可欠であり、当院でも様々な職種のスタッフたちが糖尿病の治療に向け日々活動しています。今回は筑後糖尿病療養指導士（CDE）会の活動を紹介します。

当院の CDE の主な活動

- 糖尿病についての周知活動
- 患者さんやご家族からの相談
- 患者さんやスタッフへの教育

糖尿病患者さんの生活を理解し、適切な療養や自己管理を促します。



看護師・管理栄養士
薬剤師・臨床検査技師
理学療法士など



※当院には 18 名の CDE が在籍します。

CDE とは？

CDE (Certified Diabetes Educator) とは、「糖尿病療養指導士」を意味する医療資格です。糖尿病患者の療養指導や自己管理をサポートする専門職で、医師とともに糖尿病治療に携わります。CDE の資格制度は、アメリカなどで 1980 年代に始まりました。

糖尿病スマイルフェスタを開催しました！



「世界糖尿病デー」期間中の 11/12～11/14 に当院の 1 階受付ロビーで開催しました。

チラシ、ラジオ、かかりつけの医院の先生の勧めなどをきっかけに、たくさんの方にご参加いただきました。

糖尿病の啓蒙はもちろん、地域住民の方の健康促進につながるよう今後も継続し、来年は更にパワーアップします！



パンフレット・レシピ配布



公開糖尿病教室



日替わり健康診断



栄養相談



血圧測定

2024 年に行ったその他の主な活動について

- ・ CDE ミーティング（月 1 回）
- ・ 商業施設での健康フェスタの開催（近隣病院と合同）
- ・ 医療スタッフ向け勉強会開催
- ・ 当院での「糖尿病友の会」設立に向けた活動など

2025 年 糖尿病友の会「とびかた会」を設立します！

友の会名は八女の皆さんに身近な「飛形山」から！



同じ悩みをもつ患者さん同士のコミュニケーションの場「とびかた会」を 2025 年 4 月に設立します。

- Q. どのような会？
- ・ 患者さん同士の交流（情報交換など）
 - ・ 患者さんと医療スタッフとの意見交換・勉強会

～日々の療養に役立つ情報を共有し広めていくことを目的としています～

患者さん・ご家族・医療スタッフなど、糖尿病に関心がある方はどなたでも入会できます。詳しくは「内分泌代謝内科外来」までお気軽にお尋ねください。



公立八女総合病院 外来診療 担当一覧

令和7年3月～

診療科	内容	初診時 要予約	月	火	水	木	金	備考
消化器内科	※予約の方のみの診療（非常勤医師による診療体制のため） ※紹介の方の受付もできません							※肝炎ウイルス検診は火・木曜日（予約制）
健康診断		○	○		○	○	○	
血液・腫瘍内科	午前				○	○		紹介は水・木曜日午前のみ
	午後				○			
神経内科	午前			○			○	
	午後			○			○	
膠原病内科	午前	○	○	○	○	○	○	★予約制
	午後		○	○	○	○	○	
内分泌代謝内科	午前		○	○	○	○	○	
	午後			○				
心臓・血管内科	午前		○	○	○	○	○	★ペースメーカー外来は月曜日14:00～（受付13:30～）
	午後		ペースメーカー外来★					
腎臓内科	午前	○	○	○	○	○	○	※紹介初診 要予約 ※二次検診受付は10:30まで（要予約）
呼吸器内科	午前		○	○★	○	○	○	★「禁煙外来」は火曜日午前（予約制） ※急患は午後も受けますので事前に連絡、紹介状を持参ください
外科	午前		○	○	○	○	○	※午前は再診・紹介状持参のみ（事前にお電話ください）
	血管(午前)					○		
	乳腺(午後)				○★		○	★水曜日は第1・3週のみ ★乳腺受付時間（14:00～15:00）
その他の外科外来診療日詳細はHPおよびQRコードでご確認ください。								
脳神経外科	午前		○	○	○		○	★午後は紹介状持参のみ（事前にお電話ください）
	午後	○				○★		
整形外科	午前		○	○		○	○	
産婦人科	午前		○	○★	○	○	○	※子宮がん検診（月・水・木・金曜日） ★火曜日は新患・急患のみ
皮膚科	午前		○	○	○	○	○	月・金曜日は新患受付10:30まで
泌尿器科	午前		○	○ (受付10:30まで)	○ (受付10:30まで)	○ (受付10:30まで)	○	※紹介初診予約可 火・水・木曜日は新患受付10:30まで ※第4金曜日は休診
耳鼻咽喉科	午前		○	○		○		※新患は紹介状持参のみの受付
眼科	午前		○ (受付10:00まで)	○ (受付11:00まで)	○★ (受付10:00まで)	○ (受付11:00まで)	○ (受付11:00まで)	※新患は紹介状持参のみの受付 ★黄斑外来は毎週水曜日のみ
小児科	午前		○	○	○	○	○	※第2・4土曜日のみ診療（予約・紹介状持参者のみ） ※心臓・内分泌外来は予約制
	心臓(午前)	○		○				
	内分泌(午前)	○					○★	★第4金曜日は休診
	午後		○	○	○ 予防接種 (予約制)	○	○	○・一ヶ月健診
精神科	午前	○			○	○		※臨床心理士…月～金曜日 ※午後は入院患者診療のみ
	午後		○		○	○		
放射線診断科	午後	○	○	○	○	○	○	※木曜日午後は外来制限あり
企業長診察	午前			○				診療時間：9:00～12:00
放射線治療科	午前	○	○	○	○	○	○	
	午後		○	○	○	○		
ハイパーサーミア	※事前にお問合せください							
緩和ケア科	午前	○	○	○	○	○	○	午前診療時間：9:30～11:30
歯科口腔外科	午前	○	○	○	○	○	○	※新患受付は10:00まで

外来診療
受付時間

初診 8:30～11:00
再診 8:00～11:00

TEL:0943-23-4131
FAX: (代表) 0943-22-3185
医療連携室:0943-22-6929

外来診療
担当一覧
QRコード

